

第31回
茨城建築文化賞



茨城建築文化賞



茨城県知事賞[最優秀賞] 流通経済大学 龍ヶ崎キャンパス2号館
●清水建設株式会社 一級建築士事務所



第31回茨城建築文化賞 住宅部門優秀賞 宇佐見邸



MITSUO YOKOSUKA
ARCHITECTURAL CO., LTD.

(株)横須賀満夫建築設計事務所

本 社 / 茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル TEL010-0021
TEL.029(225)4353 FAX.029(225)1794

東京支店 / 東京都杉並区梅里1-3-12 ラスキヨウ101号室 TEL.066-0011
TEL-FAX.03(5378)6617

つくば営業所 / つくば市高見原3-1-23 アニティー高見原202 TEL.029(896)3978 FAX.029(896)3968

URL <http://www.design-yokosuka.co.jp> E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp



茨城県議会議長賞[優秀賞]

土浦協同病院附属看護専門学校

- 株式会社 河野正博建築設計事務所
住所／茨城県つくば市研究学園町5丁目6-1 D12510 電話／029-861-8847
- 協力事務所 構造／株式会社 構造計画プラス・ワン 電気・機械／有限会社 知久設備計画研究所
- 建物所在地／茨城県土浦市おおつ野2丁目2番10号
- 建物用途／看護専門学校 ●構造／RC造一部S造
- 建築面積／4,058.39m² ●延床面積／7,595.91m²



未来の医療現場へ力強く羽ばたく場所

豊かな自然に開まれた新都心・おおつ野ヒルズ。本校は国内でも高度な医療・看護技術を誇る土浦協同病院の移転を機に併設された。学生を迎えるエントランスゲートは高い正面性を持ちゲート下部に創出した「ガラスのブリッジ」は施設内の回遊性を高め、同時に都市に対する学内のアクトタイプを開設装置として機能する。ゲート先に広がる「交流広場」は学年を超えた心の交流を図る場所である。この広場を開むように、1階に教室や図書室、2～3階に

実習室を配置。柔らかな光が差し込む教室からは広場で談笑する学生の姿、また、各階に設けた3層吹き抜けの「コミュニティーラウンジ」では、上級生が厳しい実習を終えた下級生に優しく声を掛ける姿を見ることができる。

全国的に医師・看護師不足が非常に大きいこの場所から、未だ大きな夢を抱き、力強く羽ばたく姿を期待したい。



第31回
茨城建築文化賞

流通経済大学 龍ヶ崎キャンパス2号館

- 清水建設株式会社 一級建築士事務所
住所／東京都中央区京橋2丁目16-1 電話／03-3561-1343
- 建物所在地／茨城県龍ヶ崎市平畑120
- 建物用途／大学 ●構造／RC造一部S造
- 建築面積／2,111.67m² ●延床面積／4,772.00m²



近年の学習方法や生活スタイルに対応できる新たな大学のシンボルとして

本計画では50周年事業の記念校舎として新たな大学のシンボルを創出すること、近年の変化する学習方法や生活スタイルに対応する建物が求められた。

新2号館は周辺の敷地形状や環境を取り込み大きな屋根下であったかも外部にいるようなコミュニケーションプラザを配置することで学生の交流が外からも感じられる新しいプラットホームとするのを目指した。既存図書館とつながるコミュニケーションプラザにはラーニングコモンズを配置し、図書館の活性化にも配慮した計画としている。



講義室は柱梁アウトフレーム構法とPC床版による彫の深いグリッド形状を特徴としている。縦横の庇効果により居住域の日射抑制と工期短縮と講義室の無梁化が可能となつた。

講義室の空調は粘性流体が壁面に沿って流れれるコアンダ効果に着目し、リブ付PC版と天井隠蔽型室内機により低速で空調空気を搬送し、ドラフト感と温度むらを抑えることを試みた。



茨城新聞社賞[優秀賞]
ケアステーション梅寿園

●株式会社 ヤマ建築設計事務所
住所／茨城県水戸市千波町1370-4 電話／029-211-3317
●協力事務所 構造／株式会社 エス・ティ・フレックス 電気／微電 機械／晚坂島工業株式会社
●建物所在地／茨城県水戸市見川町1820-9,10 ●建物用途／特別養護老人ホーム
●構造／鉄筋コンクリート造 ●建築面積／3,338.65m² ●延床面積／4,608.86m²



単調な生活にならないよう工夫した
過ごしやすい室内環境

大きなヴォリュームの施設ではありますが、フサードは住居の延長線上にある施設として切妻日本瓦葺きで高さを抑え、存在を和らげる要因の一つとなっています。また、外壁や塀を木板張りとして近隣住居住室は、四季の移ろいを感じるよう窓の腰高を低く設定し、寝たきりや車イス生活でも屋外の景色が見渡せるようになりました。

また、中庭は採光・通風ルートとして機能し、木々や水場は、美りや



今まで体験したことのないような爽快感と清々しさを実現

便器に座ると三角の木の天井とその脇から差し込む光が、利用者を包みこむ。そこには、今まで体験したことのないような爽快感と清々しさが溢れている。そんなトイレを実現木立である鉄骨の柱がブースを仕

切り、コンクリートとガラスのアロワを積み上げることにより境界を作り、技と木の天井を県産材の杉板で仕上げることにより、簡素な材料を使いながらも屋根となる浮いた樹冠の屋根下で自然を感じることのできるトイレを実現しています。

茨城県土木部長賞[優秀賞]
木漏れ日トイレ

●株式会社 andHAND 建築設計事務所
住所／茨城県つくば市東新井16-2 電話／029-855-3055
●協力事務所 構造／株式会社 三上建築事務所 電気／前川プランニング 機械／株式会社 菊地設備設計事務所
●建物所在地／茨城県ひたちなか市大字佐和字孫目東2197-28他252筆
●建物用途／公衆トイレ ●構造／鉄骨造 ●建築面積／69.42+48.79m² ●延床面積／39.09+33.43m²



第31回
茨城建築文化賞





[入選] グループホームあんずの里

●株式会社 中山大輔建築設計事務所 住所／栃木県宇都宮市インターバー23-7-603 電話／028-962-8353
●協力事務所 構造／株式会社 小林建築構造設計室
●建物所在地／茨城県筑西市茂戸1790-1 ●建物用途／老人福祉施設等 ●構造／木造 ●延床面積／594.53m² ●延床面積／446.98m²

木の特性を活かした自由でやわらかな空間
施設建築において内装制限のある中で、在来工法によって全木体を構成した上でいかに木の特性を活かした木質の空間を作るかが課題とした。そこで、どうしりとした杉の曲線のやわらかな木製カーテンや丸太と華奢な部材で構成するウオールを意匠の要である中庭部に楕円を描くよう配置した。

構造的・施工的に見て楕円形を生み出す事が難しい中、シンプルな片流れ屋根と先端にシート防水の下屋を出す事によって諸問題を解決している。また通常は軸組を曲げて曲線を生み出す事が殆どだが、今回は耐力壁を楕円以外の部分でまかない構造的に入り一にすることで、四角形から楕円形の中庭を生み出す事可能にした。

小規模木造施設でも上手く木を使いデザインする事によって、自由でやわらかな空間を生み出すことが可能にした。



[入選] 笠間市立いなだこども園

●有限公司 長塚建築設計事務所 住所／茨城県古河市原町4番2号 電話／028-22-2323
●協力事務所 構造／株式会社 シルタ電気・機械・株式会社 亂部設計
●建物所在地／茨城県笠間市福井215-1 ●建物用途／幼保連携認定こども園 ●延床面積／1,643.38m² ●延床面積／1,368.39m²



四季を体験できる温もりあふれる施設

山々を望む小高い丘の上の幼保連携型こども園。緑に囲まれた環境と美しい眺望を生かし、自然を感じられる空間を目指した。東西に伸びる50mのストリートは子供たちの社会生活の起点となり、異なる年代の出会いの場として計画。ハイサイドライトにより季節や時間で変化する光を感じられる空間とした。また、遊戯室からは、山々が眺望でき四季を視覚で感じられることで、移り変わりを体験できる施設とした。保育室は環境の良い両側に配置、園庭と離することで

落ち着いた保育環境とし、3～5歳児は独立した室、0～2歳児は各保育室が運動できるようゆるやかに仕切ることができる空間とした。子供たちが初めて触れる建築は、大きな木の家のようなデザインとし、表しの木の構造体、杉板等を多用することで温かみのある家庭的な雰囲気を持たせました。また、地場産材である畠田石、笠間焼を使い地域の愛着も育て、将来親子共通の原風景となる建築を目指した。

[入選] 友部地区地域交流センター

●株式会社 横須賀大建築設計事務所 住所／茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル 電話／029-255-4353
●協力事務所 構造／株式会社 エス・シー・エヌ一級建築士事務所 電気・機械・根本設備設計事務所
●建物所在地／茨城県笠間市友部駅前1-10 ●建物用途／交流センター（集会場） ●構造／木造 ●延床面積／1,612.32m² ●延床面積／2,030.19m²



「ハレの舞台」としてのしつらえと「日常性」を兼ね備えた施設

駅前広場と駅舎の一體感を持ったせながら、お祭り等の催しに対応できる「ハレの舞台」としてのしつらえを、「日々の舞台」としてのしつらえと、まちに暮らす人の生活を支える「日常性」をバランスよく兼ね備えた交流センターを提案しました。計画から運営まで地域の人々が深く関わるためにワークショップを行い、あらゆる「人」が気軽に集まり、交流の「場」へ成長し、「まち」の賑わいを育むきっかけを創出しました。各室は単独でも一体でも利用でき、可動間仕切りを取り入れ、配筋を検討しました。形骸化されたものではなく、実用性のあるマルチホールは100名程収納可能で、可動間仕切りによってホール・動線・イベント広場等、様々な用途に合わせ形態を変えます。線路に面した「線路のテラス」から反対側の「まちのひろば」は、景観や視線の抜けを意識し配置することで内外の空間が一体となり、活動の賑わいがまことに溢れる施設となります。

[入選] One-Sake Warehouse

●Eureka + G ARCHITECTS STUDIO 住所／埼玉県さいたま市浦和区北浦和1-21-18-405 電話／048-831-6138
●建物所在地／茨城県つくば市研究学園5-19-1 ●建物用途／物流倉庫、事務所、店舗
●構造／木造（一部鉄骨造） ●建物面積／318.8m² ●延床面積／494.99m²



住宅エリアと商業エリアの双方への調和のとれた立体的で生き活きとした景観

研究学園駅周辺のロードサイドに建つ店舗販売と不動産販売を行う酒店の計画。店舗・事務所・物流倉庫とからなる複合建築であり、店舗の商いと遠隔地の酒蔵・顧客とを結ぶ物流中継の場としての酒屋倉庫です。建築のボリュームを3つに分けて配置して、倉庫・オフィス・酒屋の機能を持たせました。開発が進行中のエリアにおける、住宅エリアと商業エリアの境目に位置するため、商業・倉庫としてのボ

リューム感と、住宅的なスケール感や勾配屋根といった意匠を織り交ぜて、住宅エリアと商業エリアの双方への調和を図りました。

筑波山へと眺望が開かれたテラスは、交通量の多い歩道レベルから浮かぶようにして配置され、テラスで開かれる試飲会を地域へ開かれた風景また立体的で生き活きとした景観に寄与することを意図しました。

[入選]

つくばどろんこ保育園

本施設は開発者らしいエリアから少し離れた古い集落のはずれに建つ民設民営の認可保育園(定員90名)です。近隣集落には、余裕のある敷地の中に勾配屋根の家屋が散在し、うそうとした雑木林や芝生の圃場に隣接する恵まれた立地です。

園舎は在来木造平屋建てで、外壁は黒く着色した杉板張りです。芝張りの起伏のある園庭に面して、2年ごとに区切られた3つの保育室を、園児たちの日々の生活の中心となる奥行きのある縁側をはさん

で、ゆるく雁行させつつ並べています。この雁行により保健室に不整形で凹凸のある壁面や脇スペースを発生させ、また部屋の中央にあえて柱を残し、園児たちが思いのままに「自分の居場所」を得られるような変化のある環境を目指しました。

また、軒先を低く抑えた切妻屋根が雁行する外観は、隣接する集落とのスケールの調和を意図している

- スタジオ アノード一級建築士事務所
住所：埼玉県朝霞市町3-28-47 電話：048-299-7253
- 協力事務所 構造：大賀建築構造事務所 電気／株式会社 サンコーエクシグ 機械／エム・エム・プランニング
- 建物所在地：茨城県つくば市下平塚345-1 ●建物用途：認可保育所
●構造：木造 ●建築面積：744.42m² ●延床面積：693.41m²



[リフォーム賞] つくば市H邸

堂々とした風格を継承しつつ 自然素材を用いた安全で快適な住居へ



改修前の写真

つくば市内の旧集落に建つ築200年を超える古民家の再生計画である。先代からこの家を引継いだ現当主である施主は、生まれ育ったこの家の堂々とした風格を継承しつつ、自然素材を用いた安全で快適な住居への改修を望んだ。事前調査では、茅葺屋根を支える丸太の小屋組みをはじめ、大黒柱やその地域特有のお釜柱など主要部材は、十分再利用可能と判断された。そこで、丸太梁の上に新たに小屋組みを架け、以前と同じ七寸勾配と深

い軒を有する軽量の金属葺屋根として、これに最新の耐震工法を組み合わせることで、大屋根の持つ風格を継承し安全性を確保した。生活様式に合わせ30坪減築したが、地域の集まりにも用いる二間続きの居室は再現し、建具も極力再利用した。かつての玄関位置を一間半移動し、玄関ホールとLDKとして再生した。力強い丸太梁を現じだし、杉無垢の床、珪藻土塗りの壁天井など自然素材を用いて仕上げ、新たな生活の中心となった。

- アーネストアーキテクツ株式会社 住所：東京都港区芝5-5-1 ラウンドクロス三田2階 電話：03-3769-4700
- 協力事務所 構造：株式会社 テラ設計工房 電気／有限会社 ゆうでん 機械／有限会社 設備プラン
- 建物所在地：茨城県行方市新宮745 ●建物用途：事務所 ●構造：鉄骨造 ●建築面積：401.39m² ●延床面積：821.53m²

[省エネ賞] OFFICE F

環境への配慮と最先端の技術の導入した社屋

政府倡導のZEB（ネットエネルギーゼロビルディング）達成に取組み、BELS評価による削減率10.8%を達成した社屋建替えのプロジェクトである。企業として環境に配慮するという社会的使命、最先端の技術の導入を図った。

省エネには外皮を少なくする性能の高い壁で開口部を少なくする事が良策であるが、働く環境の良質化を図る為北浦に面する恵まれた環境を生かし大きくガラス面開放している。また内部仕切りも積



[入選] 水戸市医師会看護専門学校

- 株式会社 三上建築事務所 住所：茨城県水戸市大町3丁目4番36号 電話：029-224-0606
- 協力事務所 電気／前川プランニング 機械／NSAファシリティーデザイン室
- 建物所在地：茨城県水戸市河和田町107番2 ●建物用途：専修学校 ●構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 ●建築面積：1,996.86m² ●延床面積：3,143.85m²



「うるおいあるキャンパス」としての環境整備

中庭を中心とした、人間性豊かなキャンバス

看護学校とは医療に関する知識と看護の技術を学び、看護師として患者に対するやさしさとともに人間の尊厳を学ぶ場所です。知識・技術を習得する学校としての機能の充足を図るとともに、人間的な感性や心を豊かにする「うるおいあるキャンバス」としての環境整備を目指しました。

建物は、学生たちの人格形成と感受性を豊かにするうえで最も重要な友人や先生たちとのふれあいを創出するために中庭を開む2階建ての校舎として有効に活用しています。

既存校舎を使用しながらの工事計画

既存校舎を使用しながらの工事計画

一期工事では敷地内の既存校舎を解体し、二期工事で東棟と訪問看護ステーションを建設しました。仮設校舎を建てないことでコスト削減を図り、既存校舎解体跡地は中庭

